



—東地中海・北アフリカ地域ニュース—

エジプト経済：5月末の外貨準備高

(6月7日付アハラーム紙ほか)

6月7日、中央銀行ホームページにて5月末の外貨準備高が発表され、これを現地各紙が報じた。

1. 6月6日、中央銀行は、5月末の外貨準備高が155億ドルになり、前月より3億ドル増加したと発表した。外貨準備高は革命以降減少し続けてきたが、4月から増加傾向。
2. 銀行関係者によれば、外貨準備高増加の原因は、スエズ運河収入の増加および海外送金の増加に加え、湾岸戦争の際にイラクが支払いを停止していたイラクからの4億ドルの送金（注：イラク政府は湾岸戦争の際、エジプトへの送金を停止したが、エジプト側との交渉により、停止していたイラクからの送金が4月から行われるようになった）等が、4月以来の外貨準備高増加を導いたと述べた。また、同関係者は、この度の外貨準備高増加は、大統領選挙後の新政府の発足および安定と治安の強化への期待を反映したものであると述べた（アハラーム紙）。
3. イスマーイール・ハサン中央銀行前総裁は、3月末から5月末にかけての外貨準備高の増加については、フランス・テレコムによるモビニールの買収も大きな原因であると述べた。また同総裁は、政府が金融政策を転換し、為替介入等のための外貨準備の取り崩しに歯止めがかかったことは、今後、外貨準備の増加への明るい指標と見なすことができると述べた（マスリルヨウム紙）。
4. 一部アナリストらは、4月、5月の外貨準備高の増加は一時的な現象であり、長期的な安定は見込めないだろうと予測している。外貨準備高には、ドル建て短期国債の売り上げ10億ドルが含まれており、アナリストらは、短期国債の売り上げがなければ、債務の支払い等で7億ドルは減少していただろうと推測している（アハラーム・オンライン）。

◎本「かわら版」の許可なき複製、転送、引用はご遠慮ください。

ご質問・お問合せ先 財団法人中東調査会 TEL:03-3371-5798、FAX:03-3371-5799